

【数学の学習法】

1. 授業への取り組み

- ① 学習道具をきちんと準備しましょう。(定規やコンパスなども)
- ② 自分がいまどんなことを学んでいるかということを意識しましょう。
- ③ 説明を聞くと、課題を考えると、ノートをとるときの区別をしましょう。
- ④ 間違いを恐れずに積極的に自分の考えを発表しましょう。
- ⑤ 提出物は、必ず期限内に提出しましょう。欠席したときに配られたプリントなどは、自分から先生にもらいにいき、後からでも提出しましょう。
- ⑥ 欠席したときの学習内容は、自分で勉強してとりもどすしておきましょう。わからなかったりしたら友だちや先生にききましょう。

2. ノートのとり方と活用の仕方

- ① 今日学ぶ課題(単元の名前)を書きましょう。
- ② 途中の計算をていねいに書きましょう。
＜例＞ $=$ を縦にそろえて書く
- ③ 問題と問題の間はあけるなど、ゆとりのある書き方をしましょう。



$$\begin{array}{l} \bigcirc \quad -3 + 2 - (-1) + 4 = -3 + 2 + 1 + 4 \\ \qquad \qquad \qquad = -3 + 7 \\ \qquad \qquad \qquad = 4 \end{array}$$

$$\begin{array}{l} \bigcirc \quad 3x + 6 = x - 2 \\ \qquad 3x - x = -2 - 6 \\ \qquad 2x = -8 \\ \qquad x = -4 \end{array}$$

- ④ 解き方を間違ったときは、またはわからない問題があったときは、解答を見るだけでなく改めて正しい解き方を必ず書きましょう。
- ⑤ 別の解き方があるときは必ず書きとめ、より良い方法を習得しましょう。
- ⑥ 定規やコンパスを使ってできるだけ正しい図(ある程度の大きさで)を書くようにしましょう。
- ⑦ 丸付けは赤ペン、大事なところは色ペンを使いましょう。
ただし、色ペンの使いすぎに注意しましょう。
- ⑧ 訂正をするときや後から追加する場合、もし記入するスペースがないときは、別の紙に記入してノートに貼り付けたり大きめの付箋紙に書いて貼るとるとよいでしょう。

3. 学習サイクル

- ① 授業・・・とにかく集中してやりましょう。まずは先生に言われたとおりに解いてみることです。
- ② 復習と宿題・・・その日のうちに必ず復習しましょう。授業の問題をもう一度別のノートに解いてみたり、ワークで学んだところを解いてみるとよいでしょう。
宿題も出された日にやりましょう。「宿題だよ」と指示されなくても、ワークは学んだところまで進めてもかまいません。

4. 内容定着に関するワンポイントアドバイス

- ① 一度できたと思っても、時間が経つと忘れます。その日のうちに復習、何日か後に復習、というように、繰り返していきましょう。
- ② 問題の数字が変われば答えも変わります。答えを暗記するのではなく、解き方を覚えましょう。そのためにも途中の計算や考え方を残しましょう。
基本的な解き方のパターンがあります。

5. 試験勉強の仕方

- ① ノートや学習プリント、教科書、ワークをすみずみまでもう一度見直し、頭の中で解き方がすぐ思いつかないものは解き直しましょう。
- ② 新しい問題に手をつける前に、これまでの復習をしましょう。ただし、すべての問題をもう一度解き直す時間はないので、特に前にまちがえたりわからなかったりした問題に力を入れて復習しましょう。
- ③ 問題を解いていてわからなかったら、ノートに図やグラフを自分で大きく書いて途中の式も丁寧に書いて解き直してみましょう。汚い字でこまごまと書いても分からなかったことが、紙いっぱいを使ってていねいに書いてみたら不思議とわかるということもあります。

6. その他

簡単でいつでも解けるような問題ばかりを解いていては、いつまでたっても力は伸びません。「少し難しいな」と感じるような問題にチャレンジし続けると、ある時からグリーンと実力がついてくるものです。勉強をやり始めて効果はすぐには現れてきません。「それまで我慢して努力できるか」が大きな分かれ目です。

